

【2024年度】児童発達支援事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	ハッピーライフたいしょう				
○保護者評価実施期間	2024年11月20日 ～2024年12月20日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人	
○従業者評価実施期間	2025年1月15日 ～2025年1月31日				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月10日				

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い年齢層のお友達の中でコミュニケーションの力を育める。	年齢を超えた子どもたちの関わりは、新たな一面を知る機会でもあり、興味・関心が広がる。	自分の限界を決めつけることなくチャレンジ精神旺盛に伸び伸びと活動ができるようにしていきたい。
2	近くに公園が沢山あるので戸外遊びが出来る。	子どもたちの体調を考慮し、元気いっぱい外で遊ぶ機会を設けている。	戸外遊びが出来る時間を作るには、どのようにすればよいのか、逆算して時計を見ながら活動できるようにしている。
3	土曜日・長期休みのお出かけ企画が充実している。	保護者からの要望にはなるべくお応えできるように考えている。子どもたちの意見も大切に、活動に取り組んでいる。	毎日アンテナを張り、情報を収集している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンをする場所が難しい。	それぞれ子どもたちが決めた場所があるのだが、落ち着く場所を提供したい。	学習ルームでクールダウンをして欲しいのだが、ドアが無い為落ち着く場所にはならないようだ。トイレに籠る児童も多い。
2	他のデイサービスとの連携が弱い。	近隣のデイサービスや一般のお店など世間との関わりを増やし社会性を身につけて行く。	たいしょうわらびんちゃー未来座談会の会合に参加し連携を深める。
3	微細運動と粗大運動をする。	「微細運動」で目で見て感じて考えて、丁度よく動かす、目的をもって操作する。運動・感覚・認知を相互に調整する働きと目と手の協調などが大切になる。「粗大運動」で社会性を養う支援をしていきたい。	保護者からの要望を聞いて本人と話し合い進めていく。